

ロータリー一月間 / 今月:水と衛生 月間 来月:母子の健康 月間

平成30年3月14日の例会より

『高萩青年会議所 50周年卓話』

<高萩RC 鈴木会長挨拶>



今日は、一般社団法人高萩青年会議所会長鈴木倅登様はじめ皆様にお越し頂きました。ありがとうございます。

後ほどご挨拶をいただきます。青年会議所

は私たちロータリークラブよりも2年早く設立され今年で50周年を迎えます。5月にイベントを控えているとのことで、この後お話ししたいと思えます。折角の機会ですので知っているようで知らないでありましょうロータリークラブについて少々お話をさせていただきます。ロータリークラブは112年前に米国シカゴで誕生した団体です。今では世界に200以上の国と地域に123万人の会員がいます。ロータリークラブの目的はお配りした資料にあります。奉仕の理念を奨励し、これを育むこととあります。ロータリーが今全力を挙げて取り組んでいる事業がポリオを地球上から無くす事。資料では3名ですが「0」ではありません。私は2013年7月10日にこの場所に初めて立ちました。まだまだ勉強が足りません。いわゆる「奉仕の理想」がまだまだ実践できていません。JCの最終にして最高の学習は人が生きるといふことの意味を考え友と語り地域に対して責任ある人に自己実現する等の事を先輩に教わりました。これからも地域の中で皆さんと手に手を取って歩いていきたいと思います。

<一般社団法人高萩青年会議所 第50代理事長 鈴木 淑登挨拶>



高萩ロータリー様の例会にお邪魔させていただき、私たち青年会議所のPRの時間を頂きましたこと、改めて感謝申し上げます。ありがとうございます。

はじめに

1969年。日本は高度経済成長の歩みの中、東京オリンピックを経て世界に存在を示し、世界有数の代表国の一員となった。この高萩市においては、明治時代より炭鉱の町として繁栄を遂げ一時代を築いてきたが、1960年代のエネルギー革命を境に、石炭産業の衰退と共に、変革を余儀なくされる厳しい時代にあった。このような時代の中、志を共にした青年が手を取り合い、迸る情熱と崇高な理念の下、この高萩の町に青年会議所が誕生した。1969年2月8日に今は無きビーチガーデンで設立の総会を行い、2月29日に日本青年会議所の認証の元、全国で409番目、県内で5番目の会議所として17名の有志の元、誕生。時は過ぎ、生誕から半世紀を迎え、時代の変化を受け入れながらも、長い歴史を歩み続けてきた昨今、私たち高萩の青年経済人は社会から何を求められているのか。今、その正確な答えを導かなければ、組織の存在に終止符を打たなければならない日が来るであろう。

| 月 日 | プログラム | 担 当 | 11月1日 出席報告 | | |
|-------|--------|----------|--------------|-----|-----|
| | | | 会員数 | 出席者 | 欠席者 |
| 3月21日 | 休日(祝日) | | | | |
| 3月28日 | PETS報告 | 会長エレクト | 29 | 15 | 11 |
| 4月4日 | クラブ協議会 | 会長幹事 | 出席率:57.69% | | |
| 4月11日 | 観桜会 | 親睦・家族委員会 | 前々週訂正:74.07% | | |

事務所: 〒318-0033 高萩市本町2-65
常陽銀行高萩支店内 TEL/FAX: 0293-24-0505
■URL <http://takahagirotaryclub.web.fc2.com/>
■E-Mail: takahagi-rotaryclub@h7.dion.ne.jp

会 長: 鈴木 直登
幹 事: 福田 文乃
例 会: 毎週水曜日 12:30~13:30
会報委員: 上田良三、石君平、石平光、大高司郎、
田所和雄、棚谷稔、花園文熙、大河原浩

四つのテスト

言行はこれに
照らしてから

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



しかしながら、いつの時代も人は過去の歴史を読み解き、現在をしっかりと捉え、その先の未来を築いて生きてきた。なぜならば、そ

こに時代を切り開くヒントが隠されていたからである。まずは先達が築いてこられた、この50年の歩みを今一度振り返り、現代において社会から求

められる青年会議所の存在を再考し、未来を切り開く変革家として社会への貢献を果たすべきである。

創立50周年を迎えて

50周年を迎えるにあたり、まずは感謝の心を持とう。併せて、創始より半世紀もの間、この時代に至るまで、襁を届けて頂いた先輩方への最大限の御礼と尊敬の念を抱こう。そして志を同じうする各地会員会議所のメンバーに人と人との繋がりを通した、地域のホスピタリティを発信しよう。また、地域発展への想いを共にする関係諸団体と共存共栄の絆を深めよう。最後に、温かい眼差しで私たちを支えてくれた、この町高萩市に恩返しをしよう。

今、ここに高萩青年会議所があるのは、この組織に携わる多くの人がいたからである。50年を契機に、これらのすべての想いを集結し、かたちとして発信する必要がある。「高萩に。青年会議所の運動にまた来たい。」そう思われる存在になろう。事業の良否はこの相手を重んじる心からはじまり、それが成果として表れるのである。

そして、私たち現代に生きる人間には、未だ見ぬ未来の人財へ歴史や伝統を総称する「和の襁」を繋いでいく使命がある。途絶える事のない「和の襁」の継承こそが、これから先の50年後の未来のかたちを創っていくのであろう。

希望に満ちた人財とは

IT産業の発展に端を発し、次世代の産業革命としてビッグデータやAIと最新のバイオテクノロジーの融合による「第5次産業革命」の時代が目前に迫っている。

そして、人と人の繋がりに視点を置くと、SNS等の発展に伴い、交流の手法は様々な変貌を遂げている。日本国においては、人口減少を余儀なくされるこれからの未来において、機械化や合理化は必然の選択肢であり、そのムーブメントを活用するのは

当然の事である。しかしながら、私はこのような時代の中においても、やはり、心を持った人と人とのリアルな想いが重要であると考えます。私の考える希望に満ちた人財とは、人との出会いに感謝の心を持ち、常に前向きな姿勢で自己を研鑽し、崇高な理念を武器に行動を起こす、未来を見つめるリーダーである。まずは、私たち自身がそんな格好いい人間になろう。そして、そんな人たちを地域に育てよう。私たちが運動を通じて、大きく成長を遂げた時、必ずやこの青年会議所の門を叩く希望に満ち溢れた人財が訪れるであろう。

結びに

青年会議所は混沌という未知の可能性を切り開き、個人の自立性と社会の公共性が生き生きと協和する確かな時代を築くために行動している。

いつの時代においても未だ見ぬ未来を人は混沌と呼ぶのではなかろうか。そしてこの混沌に答えを見出すために、変化や変革が必要なのである。時にはイノベーターとなる事に不安を感じる事もあるでしょう。しかしながら、私たち高萩青年会議所には50年の歴史がある。時代の変化に対応するためには、温故知新の精神を持ちながら、道を切り開く勇気を携える必要がある。

そして、個人の自立性と社会の公共性は常に表裏一体を成しており、このバランスを保つことが重要である。個の利益のみに寄るのではなく、これらと共に、社会の充足を考える事が物事の本質であり、両者が発展を遂げなければ、真の豊かさは訪れない。私たち青年経済人が社会から求められるものはこの両輪の舵取りを担う、夢と希望を併せ持った人財ではなかろうか。まずは私たちが先駆者として、夢と希望を掲げよう。

そしてそれを地域に育み、50年後の未来をしっかりと見つめよう。

個人の自立性と社会の公共性が生き生きと協和する確かな時代を築くために。

「大きな夢と光り輝く希望を持ったクール高萩いざ出陣。」

<福田文乃幹事報告>

- 1、新会員の入会申し込みがあり、選考委員長より紹介があります。
- 2、地区大会登録に関する案内が届いております。2018年5月26日、27日（つくばノバホール）
- 3、地区財団より寄付の明細が届いております。
- 4、3月21日は休会。3月25日は夜例会（月乃屋）
- 5、3月24・25日 会長エレクト研修セミナー（PETS）

2018-19年度

地区公共イメージ委員長 大高司郎

3/3、地区チーム研修セミナー (DTTS) 報告

次年度の地区組織図の特徴点。新たな委員会は①RLI委員会(クラブの指導者開発を目的)②戦略計画委員会③奉仕プロジェクト(効率化・活性化を目的に:職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕の3つを1つのプロジェクトに統合)④平和フェロシップ⑤米山奨学会選考委員会、等がある。因って地区総括委員長が7名から5名にスリム化。また、クラブ奉仕委員会にあったクラブ管理運営委員会が廃止(5から4)された。HP運営委員会がIT委員会に変更。次年度はこのような地区体制となった。沼田操会員が米山奨学会選考委員、鈴木直登会員がロータリー財団資金管理委員、大高司郎がクラブ奉仕公共イメージ委員長となる。

2017-18年度

職業分類・会員選考委員長 鈴木国男

先ほど幹事から話がありましたとおり、入会申込書が上がってまいりました。紹介者は大高司郎さんです。今日から1週間異議申し立て期間を設けます。申し立てがある方は理事会へ提出してください。

2017-18年度

米山記念奨学会委員長 石川武信

3月10日2017-18年度米山記念奨学生修了式に行っていました。場所はつくばの山水荘。ガバナの挨拶を初め、茨城大学、つくば大学、流通経済大学の先生方の祝辞がありました。その後奨学生とカウンセラーに記念品と感謝状の贈呈がありました。魯さんには記念品、私には感謝状を頂いてまいりました。いずれの奨学生も、奨学生になって良かったと感想を述べており、大学での研究や自身の研鑽に大いに役立ったことや、各クラブの皆様や、カウンセラーへの皆様へ感謝の言葉を述べておりました。これが米山の素晴らしいところであり、私も感激して参りました。卒業後、帰国する奨学生が2名、国内で就職10名程、大学で研究7名程ということです。

2018-19年度

幹事 大河原浩

2018年3月11日地区補助金セミナーへ参加して参りました。次年度の各クラブ幹事の初顔合わせの場であり、会議の内容は財団補助金申請書の書き方プログラムでした。そして、次年度に利用する財団補助金の申請が始まりました。書類提出期限は2018年4月30日となります。我がクラブでは英語スピーチコンテストで補助金を活用しておりますので、開催日程、予算・見積もり等を早々に決定いたしまして、手続きに入りたいと思います。

【本日のお客様】

高萩青年会議所
理事長 鈴木 淑登 様
直前理事 石 健太郎 様
副理事長 佐藤 孝政 様
50周年実行委員長 助友 崇 様

【メイクアップ】

3月10日 米山記念奨学生期間終了式
石川武信さん
3月11日 地区補助金管理セミナー
鈴木直登さん 大河原浩さん

【ニコニコBOX】

石平光さん:いよいよ開花が秒読みに入りました。花粉症の悩みが増えました。本日のJCのお客様歓迎致します。卓話楽しみにしております。

鈴木直登さん:官僚とは。キャリアとは。納税するのな一となる。JCいい響きだね。今日はよろこそ。

福田文乃さん:JCさん、今日はよろしく。

花園文熙さん:JC50周年おめでとう御座います。卓話よろしく願いいたします。

鈴木国男さん、江尻寛さん

大河原浩さん:高萩JCの皆様、ようこそ高萩RCへ。本日はよろしく願いいたします。

石川武信さん:JC理事長、卓話楽しみです。

沼田操さん:本日はJCの皆様お世話に成ります。

今川隆さん:鈴木淑登君!!卓話期待しています。

小森勇一さん:新聞を見るたびに、四つのテストを大切に。ロータリーをすばらしいと思います。

石君平さん:JC理事長鈴木様卓話楽しみです。

上田良三さん:テニス大坂なおみが8強。すごい、素晴らしい成績だ。シャラポワ戦を観戦したがストレート勝ち。その強さに超ビックリした。

大高司郎さん:高萩青年会議所の皆様、ようこそいらっしました。

鈴木啓志さん:市文化協会、芸術鑑賞の旅フランス、昨夜無事帰ってくる事が出来ました。

本日計 16,000円

累計 600,500円

【ロータリー財団】

本日計 17,300円

累計 722,400円

【ポリオプラス】

本日計 0円

累計 82,300円

【米山記念奨学会】

本日計 38,000円

累計 356,500円